

礼文の森から

宗谷森林管理署

礼文森林事務所

森の作り方 番外編

去年は「礼文の森から」で森の作り方を紹介してきましたが、今回は番外編として「根踏(ねぶみ)」を紹介します。



森作りの流れ

「①地拵え(じごしらえ)」→「②苗木の植付」
→「③下刈り」(→④除伐・間伐)
※番外：根踏(②と③の間)

根踏とは秋に苗木を植えた時、翌春に倒れた苗木を垂直に起こし、根の周りを踏んで落ち着かせる作業です。植えたばかりの苗木は、しっかり根が張れず、雪の重み等で倒れることがあるので人の手で直す必要があります。

礼文島では秋をメインに苗木を植えており、根踏は毎年欠かせない作業です。このような地道な作業の積み重ねで礼文の森を育てています。



上：あちこち向いている苗木
右：先端を軽く引き、根を踏み固めます



GSS(グリーンサポートスタッフ)の紹介

今年度も柿崎重次が森林保護員(通称GSS)を担当し、国有林のパトロールやマナー啓発活動、歩道修繕を行います。

新型コロナウイルスの影響で観光客の皆さんはなかなか来島できない状況ではありますが、GSSブログ等を通じて、美しい花々を始め、礼文島の魅力を伝えてまいりますので何卒よろしくお願い致します。



看板整備中の柿崎GSS



ブログ「礼文島発! GSS活動日誌」はこちらから! →